

# 大里の空から

令和4年12月16日発行

第15号

文責：校長 阿部浩幸

## 森林環境学習！（大野先生来校）

12月8日(木)に、「森林環境学習」を行いました。この学習活動は、福島県の森林環境税を活用した活動となっています。

今回、講師として来校して下さったのは、大野一宏先生です。3～6年生に授業をして下さいました。

大野先生は、「サンマッシュ全国大会品評会・サンマッシュ賞（最高賞）」「福島県きのこ品評会・農林水産大臣賞（最高賞）」等、数々の受賞歴をお持ちです。また、大野さんの育てたシイタケは天皇陛下による大嘗祭の献上品にも選ばれています。

子どもたちは、真剣に話に聞き入り、大野先生に質問していました。

気さくで、軽妙にお話をして下さった大野先生。おそらく子どもたちは、大野先生を「身近な方」と感じているかと思います。

身近なところに存在する、偉大な方を知ったことも、大きな学びです。



【真剣に聞き入っている子どもたち】



【大野先生が育てたシイタケに驚き！】



【子どもたちも育ててみることに…】

## 「天栄村地域拡大学校保健委員会」からの報告です！

11月29日(火)に、「天栄村地域拡大学校保健委員会」が行われました。そこで話し合われたことを紹介します。

天栄村の小学生の肥満傾向児童発現率です。

男子 20.3% (福島県13.9%・全国10.0%)

女子 15.5% (福島県11.8%・全国7.9%)

福島県では、「子どもの肥満」を、大きな課題としています。その福島県の数値を大きく超えているのが天栄村の子どもたちの現状です。

また、会では菊池信太郎先生（菊池記念こども保健医学研究所・所長）の講演もありました。その中で、「子どもの肥満は成人へ移行する」というお話がありました。「子どもの肥満は成長すれば改善される」という考えは、統計上も医学上も全く根拠がないそうです。子どもの頃の食生活の乱れは、たとえ成人期に肥満が治っても、成人後の「糖尿病」「高脂血症」「高血圧」「冠動脈疾患」のリスクを高める、とのことでした。

菊池先生は「肥満の予防と、早期介入」の重要性を強く訴えていました。